旭川市新厅舎建設

NEWS





公共建築課

最新情報は,【■】】 HPをご覧ください

発行・編集 旭川市庁舎

tel:25-7597 choshakensetsu@city.asahikawa.lg.jp

旭川市役所は、令和5年度に新庁舎へと生まれ変わります

市民の皆さんの暮らしを支える新しい庁舎の建設工事に関する情報を「新庁舎建設NEWS」として皆さんにお伝えしていきます。

工事の進捗

令和2年度	きココ 令和3年度	令和4年度	令和5年度
	*		
杭工事· 基礎工事· 地下躯体※工事	地上躯体※工事	内部・外部仕上工事	検査・ 調整 令和5年11月
	(冬期休止)		オープン予定

※ 躯体(くたい)とは、柱、壁、梁、床など建物を支える骨組みのことです。

令和3年4月からタワークレーンを使用した鉄骨の組立工事が始まっています。 今号では工事の進捗と、鉄骨の組立作業についてお知らせします。



1階部分から鉄骨を組み立て始めました。

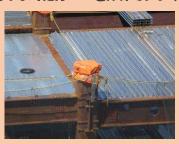


1階の鉄骨組立が完成し、2階の床になるデッキプレートを取り付けています。

2階、3階部分の組立てを進めています。

作業は順調に進んでおり、今年の10月末までに9階(最上階)までの組立てを予定しています。

柱は中が空洞なので、雨が入ら ないようにカバーをかけています。







工事現場日記

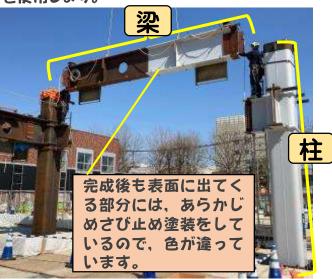
令和3年4月23日(金)



工事現場に最初の柱を建て、工事の安全を祈 願する立柱式が行われました。

新庁舎建設に使用する 豆知識 鉄骨ってどんなもの?

鉄骨は、主に柱と梁の2種類があります。 新庁舎建設では合計で約4,000トンもの鉄骨 を使用します。



主な柱の断面

(空洞)

70センチ

厚さ(1~9階) 25~36ミリ

ばれる種類を使っていて、1枚 の帯状の鉄の板を角形に折 り曲げて作ります。 建物にかかる力は、梁から柱 を通して基礎に伝わるため、 低層階の柱にかかる力は、と

柱には、主に角形鋼管と呼

そのため、新庁舎の1階の柱 には、上階に使用するものよ リ厚い32~36ミリのものを 主に使っています。

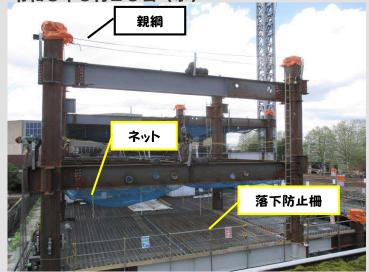
ても大きくなります。

令和3年5月18日(火)



鉄骨工場で加工された柱・梁のパーツを実際の 位置に置いていきます。地上42mから操作す るタワークレーンとの連携が重要な作業です。





作業員の命綱を取り付ける親綱や落下防止柵、 ボルトや工具類の落下や飛散を防ぐネットなど の安全対策を行っています。

主な梁の断面

厚さ 19ミリ 95センチ

35センチ

厚さ(1~9階) 25~32ミリ

梁は、柱の間に横に掛け られるもので、床や壁にか かる力を柱に伝えます。 新庁舎には、その形から H形鋼(H鋼)と呼ばれる 種類の鉄骨を使っていて. この形は鉄の量が少ない 割に強度が高いのが特徴 です。

この工事では、最長12m のものを使用します。